

みんなの図書館

発行日 令和3年1月13日(水) (年4回発行)

第61号



発行者 木更津市立図書館

木更津市文京2-6-51

TEL 0438-22-3190

FAX 0438-22-7509



電子図書サービス開始!

電子図書とは、インターネットを通じていつでもパソコンやスマートフォンで読書を楽しむ電子書籍のことです。

図書館では、1月13日午後1時から電子図書サービスを開始します。

電子図書の利用には、図書館カードと専用パスワードが必要です。

専用パスワードは図書館の窓口で交付しています。

注意：電子図書サービスを利用できるのは、木更津市に在住、在勤、在学の人です。

在勤・在学の人で電子図書の利用を希望する場合は、社員証や学生証などをお持ちください。(確認ができないと専用パスワードの交付はできません)

電子図書利用案内

木更津市立図書館 電子図書



<https://www.d-library.jp/kisarazu/g0101/top/>

* 電子図書の貸出冊数は2冊までです。

* 貸出期間は2週間です。

予約が入っていなければ、一度だけ貸出期間の延長ができます。

返却日を過ぎると自動的に返却されます。

* 予約は4冊までで、置き置き期間は1週間です。

予約状況はマイページで確認してください。

電子図書のリクエストはできません。

* 読みかけのページにしおりを挟む機能や、図書の種類によっては文字を拡大できる機能があります。

* 電子図書の利用には、アクセスのたびに通信料がかかります。



詳しくは電子図書のホームページをご覧ください

✧図書除菌機を設置しました✧

みなさんに図書館の本を安心して利用してもらうため、本の除菌機を設置しました。
本を並べ、ボタンを押して30秒待つだけで本の除菌が完了します。
玄関近くに設置しましたので、ご自由にお使いください。

ポイント



- * 本の外側だけではなく、本を開いた状態で紫外線を照射することで、ページの中まで除菌できます。
- * 本の下側から風をあて、ページの間にはさまったほこりなどを除去します。
- * 消臭抗菌剤を循環させ、たばこやペットの気になるにおいも除去します。
- * 同時に6冊まで30秒で除菌できます。



↑ 借りていく本を除菌している様子を写真に撮らせてもらいました。

きれいになった記念にピースサイン→



自動検温器を導入しました

新型コロナウイルス感染対策として、入館時に職員による検温を行っていましたが、この度自動検温器を導入しました。

画面の顔枠に合わせ静止すると数秒で検温が終了します。マスクは着用したままで検温できます。ちなみに、マスクをしていないと、「マスクを着用してください」とアナウンスされます。

角度によって認識しにくい場合もありますが、画面の顔枠にぴったり顔が収まるように立つことがポイントです。

入館時の手指消毒、自動検温器による検温、館内でのマスクの着用など、引き続き感染対策へのご協力をお願いします。



きれいなお花をありがとうございます!



玄関前の花壇が季節の花で彩られていることにお気づきですか?今は葉牡丹がきれいに咲いています。

この花壇の花は図書館の利用者の方が、季節が変わるたびにご厚意で苗をくださっています。

永年にわたり、きれいなお花をありがとうございます。



ご寄附ありがとうございます！



森田館長と石川さま

銀座コーチングスクール認定プロフェッショナルコーチの石川侑理さまより図書購入のためにと、ご寄附を20万円いただきました。お心遣いありがとうございます。

石川さまは図書館の本をきっかけに、現在のお仕事であるコーチングに出会ったそうです。「その感謝を込めて…」と、一昨年から図書館へご寄附をくださっています。

お仕事の他にも、（一社）まちづくり木更津による「健康よろず相談室」の心理支援担当者や、講演会の講師として広くご活躍されています。

地域貢献とコーチングの認知度の向上として、図書館以外にも市内の団体等へご寄附くださり、温かいご支援をしてくださっています。

冬・春の図書館、こんな予定です

イベント参加時含め、館内ではマスクの着用をお願いします

 **蔵書点検** 年に一度の本の点検作業！約37万冊の全資料のバーコードをスキャンします！
2月16日（火）から2月25日（木）まで休館します。
上記の期間は、公民館や金田交流センターでの本の貸出・返却もできません。

 **大人のためのおはなし会** 詳細は館内ポスターやHPで（来月初旬にお知らせ開始）
3月13日（土）（予定）
図書館職員が大人のために昔ばなしを語ります。
「むかしむかし あるところに・・・」さぁ一緒に昔ばなしの世界へどうぞ。

 **れきおんミニコンサート** 詳細は館内ポスターやHPで（来月初旬にお知らせ開始）
3月28日（日）（予定）
国立国会図書館が配信をしている歴史的音源から、図書館職員が選曲した音楽を楽しむコンサートです。昨年度中止となった「お花見」をテーマに開催します。

新型コロナウイルスの感染拡大状況により、
開催を延期または見合わせる可能性があります。

2月13日（土）に予定していた、関谷裕子さん（こぐま社編集者）をお迎えしての児童文学講座『こぐまちゃんとともに50年』は、開催を延期することになりました。開催日は改めてお知らせします。その日まで楽しみにお待ちください。

わたしの思い出の1冊 ～記憶の中に深く刻まれている1冊をご紹介します～

「姑獲鳥の夏」 京極夏彦//著 (F/キ) 図書館員 カイ

就職したばかりの頃、研修に向かう駅で何となく興味を持ち、研修所で睡眠時間を削って読んだことを覚えています。

ミステリの部分は、古本屋にして陰陽師の京極堂が、久遠寺医院を舞台に、久遠寺医院の娘は二十力月の間身籠ったままであり、その夫は密室から消え行方が知れないなど、医院で頻発する怪事件を紐解いていく、というもの。京極堂の友人である関口が持ち込んできた「不思議」に、京極堂は「この世には不思議なことなど何もないのだよ」と冷淡に答えます。

冒頭から関口と京極堂の会話ではじまるのですが、2人の会話がシャーロック・ホームズとワトソンのような物語を紡ぐ者と探偵役のようなやりとりで、非常に理屈っぽい京極堂との会話も飽きさせることはありませんでした。

タイトルにも姑獲鳥という妖怪が入っているように、陰陽師である京極堂は妖怪になぞらえた「憑物落とし」を行うのですが、妖怪が実在する話ではなく、探偵小説としてもとても楽しめる1冊です。

《レファレンス・トリビア》

Q 最後の大名として有名な請西藩主林忠崇の叔父にあたる人が、寺田屋事件で坂本龍馬を追い詰めたって本当？

A そうなんです！あの坂本龍馬を！あの請西藩のお殿様が！あの寺田屋で！物凄いことですよね！

「維新史料綱要 巻6」によれば、慶應2年の正月に『浪士坂本龍馬、京都を發（「発」の旧字体）シテ伏見寺田屋ニ宿ル。是夜（この夜）、伏見奉行ノ捕吏ノ爲（ため）ニ襲ハル』とあります。また「京都の歴史 第10巻」には、安政6年から慶応3年の伏見奉行は『林肥後守忠交』とあります。そして「上総国請西藩主・一文字大名林候家関係資料集」には林家の16代目に忠交の名が記され、請西藩主林忠交が伏見奉行を勤めたことがわかります。

寺田屋での坂本龍馬と伏見奉行的一幕を有名なものにした書籍の一つ、「竜馬がゆく」の「伏見寺田屋」の章にも『時の伏見奉行は、上総請西一万石の藩主林肥後守忠交である』とあり、江戸の夜に竜馬を追い詰めた我々が忠交の雄姿が目に見えますね！幕末ロマン！

……残念ながら、忠交は慶応3年5月に亡くなってしまいますが、その志は17代忠崇に受け継がれていくのです。

参考図書：R 813.6 カ 2『角川古語大辞典 第2巻』 中村幸彦 他//編
R 216.2 KYO 10『京都の歴史 第10巻』 京都市//編
291 ハ『上総国請西藩主・一文字大名林候家関係資料集』林勲//著

編集後記 お節の中では昆布巻きとなますが好きなのですが、先日テレビでこの2品は残るお節ワースト1・2と放送されていました。残念。とは言え、お正月に一番おいしく食べたものは蟹です。（めっち）ハイテク化されていく図書館に、「21世紀の到来」を20年遅れでひしと感じている20世紀生まれです。まずは電子図書サービスを色々使いこなしてみようとワクワクしています。（マル）